

原子力安全推進協会(JANSI) について

JANSI 会長
ウィリアム・エドワード・
ウェブスター・ジュニア

2022年7月5日(於:原子力委員会)



1. JANSI設立趣旨
2. ミッション、ビジョン
3. 体制・組織
4. 原子力産業界における自主規制の目指す姿
5. JANSI 事業運営の5 原則
 - 原子力産業界自主規制実現のために-
6. JANSIの活動サイクル
7. 事業者トップのコミットメント強化のための取り組み
8. 主要活動例
9. JANSI活動に対する評価・課題等
10. 結言



1. JANSI設立趣旨

○「**福島第一事故を二度と起こさない**」とする産業界の総意のもと、民間の第三者機関が原子力事業者を牽引して更なるエクセレンスを自主的に追求する仕組みとして、米国原子力産業界におけるINPO(米国原子力発電運転協会)をモデルに、自主規制組織JANSIを設立(2012.11)。



2. ミッション、ビジョン

【ミッション】

日本の原子力産業界における世界最高水準の安全性の追求
～たゆまぬエクセレンスの追求～

【ビジョン】

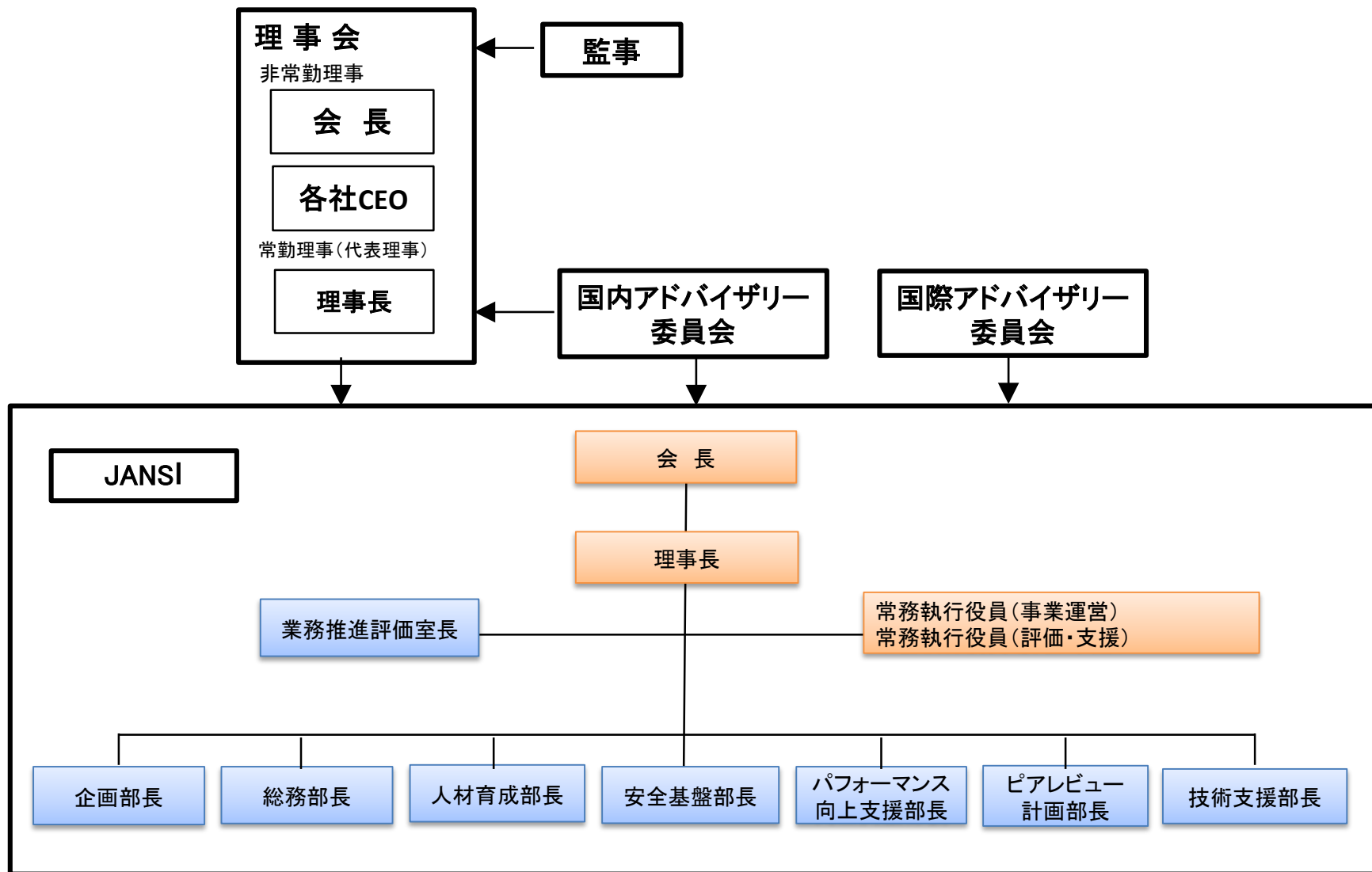
○**産業界の将来ビジョン**： 事業者の自主的安全性向上の取り組みが定着し、継続的な改善が図られている。

○**JANSIの将来ビジョン**： 原子力産業界の自主規制組織として、事業者の自主的安全性向上の取り組みを牽引している。



3. 体制・組織

5



3. 体制・組織

理事・監事	氏名(敬称略)	所属
理事(非常勤) 会長	ウィリアム・エドワード・ウェ ブスター・ジュニア	
代表理事 理事長	山崎 広美	
理事(非常勤)	池辺 和弘	九州電力株式会社 代表取締役 社長執行役員
理事(非常勤)	小早川 智明	東京電力ホールディングス株式会社 取締役 代表執行役社長
理事(非常勤)	瀧本 夏彦	中国電力株式会社 代表取締役 社長執行役員
理事(非常勤)	長井 啓介	四国電力株式会社 取締役社長 社長執行役員
理事(非常勤)	林 欣吾	中部電力株式会社 代表取締役社長 社長執行役員
理事(非常勤)	樋口 康二郎	東北電力株式会社 取締役社長 社長執行役員
理事(非常勤)	藤井 裕	北海道電力株式会社 取締役社長 社長執行役員
理事(非常勤)	増田 尚宏	日本原燃株式会社 代表取締役社長 社長執行役員
理事(非常勤)	松田 光司	北陸電力株式会社 代表取締役社長 社長執行役員
理事(非常勤)	村松 衛	日本原子力発電株式会社 取締役社長
理事(非常勤)	森 望	関西電力株式会社 取締役 代表社長執行役員
理事(非常勤)	渡部 肇史	電源開発株式会社 代表取締役社長 社長執行役員
監事	久米 正	株式会社日立製作所 執行役常務 原子力ビジネスユニット CEO
監事	山崎 肇	株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 代表 取締役社長



3. 体制・組織

【国内アドバイザー委員会】

氏名(敬称略)	所属
井上 伸一	公益社団法人日本航空機操縦士協会会長
折木 良一	富士通株式会社シニアアドバイザー (元自衛隊統合幕僚長)
中川 恵一	東京大学大学院医学系研究科 総合放射線腫瘍学講座特任教授
廣瀬 直己	一般社団法人日本動力協会会長 世界エネルギー会議日本国内委員会議長
山口 彰	公益財団法人原子力安全研究協会常勤理事 (元東京大学大学院工学系研究科教授)
若倉 正英	特定非営利活動法人保安力向上センター 常務理事・センター長

【国際アドバイザー委員会】

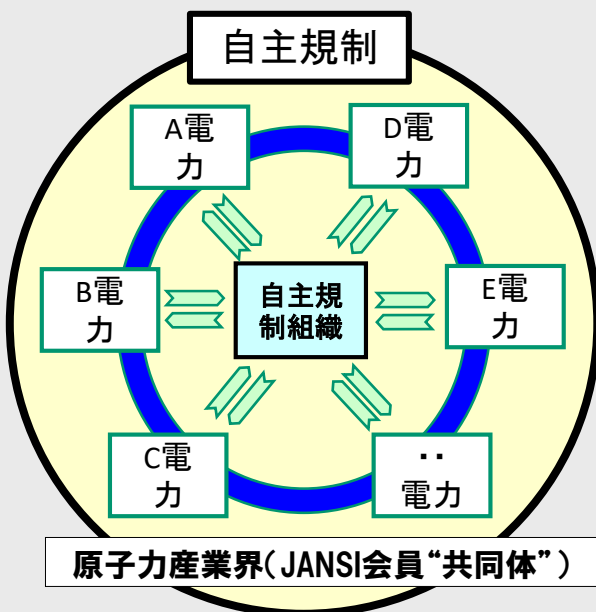
氏名(敬称略)	所属
ジャック・レガルド	EDF社副社長 (元WANO(世界原子力発電事業者協会)議長)
ビクター・マクリー	コンサルタント (元NRC(米国原子力規制委員会)運営総局長)
ホセ アントニオ ガーゴ バデナス	ANAV(Asociacion Nuclear Asco-Vandellos)社 社長
ジェフリー アーチー	コンサルタント (元SCE&G社、上級副社長 & 最高原子力責任者)



4. 原子力産業界における自主規制の目指す姿

8

～役割と責任～



産業界の一員であるが、
独立性を堅持

【事業者】

- 自主規制の主体として、共同体としての責務を果たし、一体的な安全性向上への取組みを継続
- 原子力施設の安全に対する個別および集団的責任
- 自主規制組織が使命を遂行するための権威の付与と支援

【JANSI(自主規制組織)】

- 自主規制を効果的、効率的に進める役割と責任
 - ・自主規制活動を評価・監視するWatchdog
 - ・活動を活性化するCatalyst
 - ・道程を示し、活動を促進するFacilitator
 - ・確固とした拠りどころとしてのAccountable Agent
- 自主規制組織の権威の裏付となる技術力
- 規制との適切な関係



5. JANSI 事業運営の5 原則

-原子力産業界自主規制実現のために-

1. CEO の関与

事業者CEO が、ガバナンス、オーバーサイトを含むJANSI の運営に積極的に関わる。
(2018年6月から事業者の全CEOが理事会メンバー)

2. 原子力安全に重点

原子力安全が最重要である。発電所 運営における「エクセレンスの基準」の達成に重点を置く明確なミッションがある。

3. 産業界からの支援

産業界はJANSI の活動に全面的に参画し、人材等のリソース面でJANSI を支援する。

4. 責任

事業者は、各自の発電所の安全について責任を有するとともに、産業界全体の安全についてJANSI への責任を果たさなければならない。

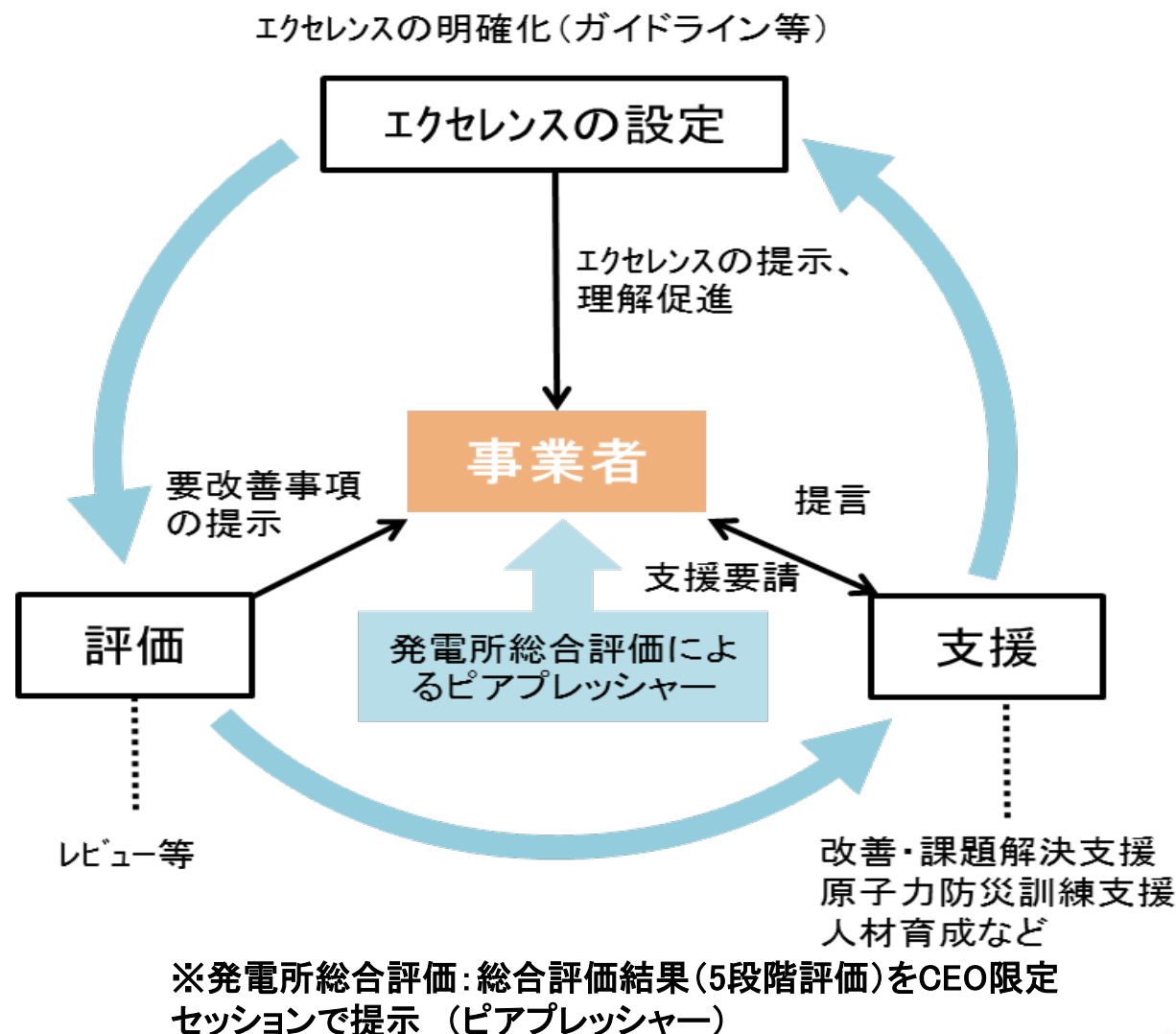
5. 独立性

JANSI は産業界には依存するものの、個々の事業者、事業者グループからの独立性を有している。



6. JANSIの活動サイクル

世界の最新のエクセレンスを把握し、「エクセレンスの設定」、と事業者に対する「評価」と「支援」のサイクルを効果的かつタイムリーに展開



7. 事業者トップのコミットメント強化のための取り組み

11

○JANSIトップは要改善事項などを直接事業者CEOに伝え、改善を促す。

【ピアレビュー関連】

- ピアレビュー結果(要改善事項等)を事業者CEOに直接提示
(共通の課題については、CEOセッション(JANSIが主催する事業者CEO限定の意見交換の場)でも内容を共有)

【安全文化】

- 安全文化に係る診断結果を事業者CEOに直接提示

【発電所総合評価】

- 総合評価結果(5段階評価)をCEOセッションで提示
(ピアプレッシャー) 「表彰とペナルティ」(名誉と恥のインセンティブ)

【安全性向上策の提言関連】

- 安全性向上策の検討を事業者CEOに直接提示

【CEOセッション、CEO研修、対話】

- 自主規制実現に向けて事業者CEO間で意見交換



8. 主要活動例(その1)

〇ピアレビュー

➤ JANSI発足(2012年)以降、25回実施

〈JANSI ピアレビューの役割〉

- ・事業者の安全性に影響するあらゆる活動を評価
- ・パフォーマンスの状況について事業者トップへ伝える



〈目指すべき姿〉

- ・発電所との信頼感が前提(インタビュー内容、報告書等の情報非公開)
- ・発電所の改善に結びつく“質の高いピアレビュー”の実施
- ・“評価と支援”による継続的な関与
- ・“独立性”の確保
- ・自らにも“高み”を求める



世界最高水準の安全性・信頼性の追求

2021年度実績

- 女川
- 大飯
- 高浜
- 玄海

チームミーティング

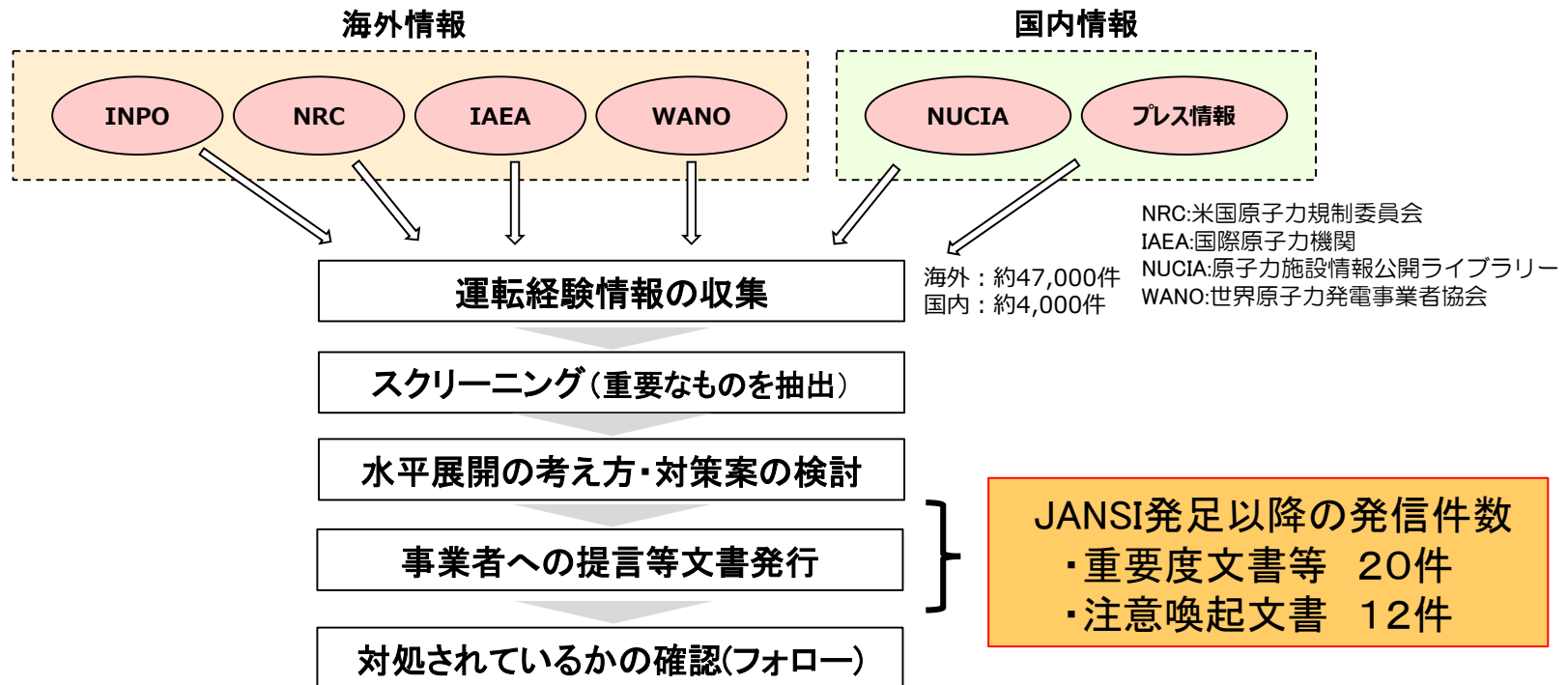


8. 主要活動例(その2)

13

○運転経験(OE)情報の活用

- 国内外のOE情報を収集、分析し、必要に応じて事業者に対策等を提示
- 国内OE情報は公開データベース(NUCIA)に登録するとともに、必要に応じて水平展開などの対応を要求



8. 主要活動例(その3)

14

○安全文化診断

- 現場診断 : 3年毎のアンケート結果を基に、発電所、主要なプラントメーカー、燃料加工メーカーを対象として、3～4年周期で実施(現場の生の声が聞ける、潜在的な問題点を把握できる)2020年度から本店にもインタビューを拡大
- 安全文化アンケート : 3年毎に定点観測として実施

【現場診断】

現場診断は、組織文化の面から対象組織の姿を多角的な視点で観察・分析し、それらが安全を含めたパフォーマンスの維持・向上にどう関わっているか、独立・客観的な立場から一つの診立てを示すもの。

その目的は、当該組織自身が安全との関連において自らのありようをより正しく認識し、安全のエクセレンスを目指す組織としての学習能力を高める契機とすること。

	2021年度 実績
原子力発電所 日本原燃	東通、大飯、志賀、女川、 福島第一
プラントメーカー 燃料メーカー	東芝

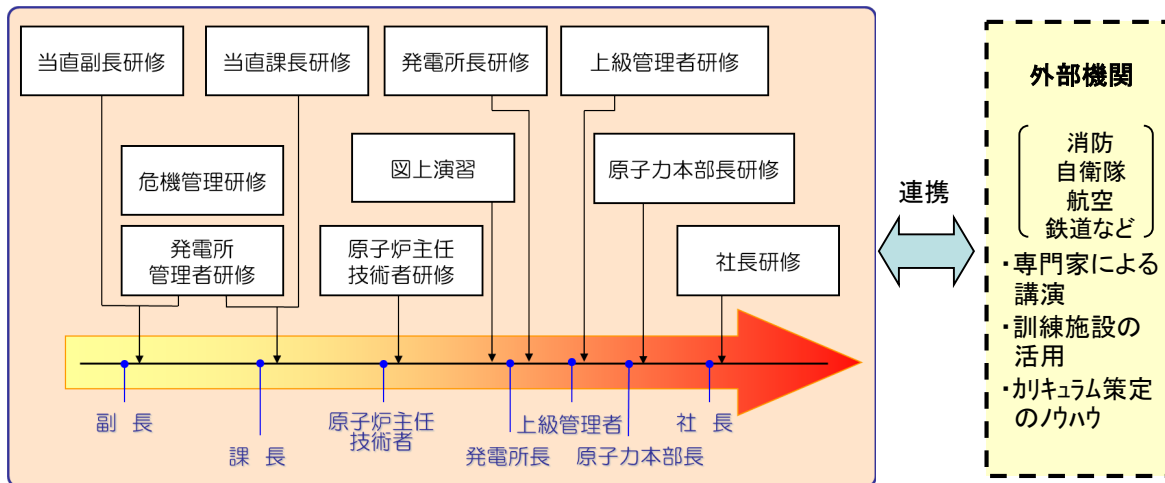


8. 主要活動例(その4)

○リーダーシップ研修

- 原子力安全最優先の意識、ノンテクニカル・スキル(リーダーシップ、コミュニケーションなど)の醸成を目指した研修を実施
- 当直課長、発電所長、CNO/CEOなど、各管理層を対象に、職制に応じた11コースを提供

CEO:最高経営責任者
CNO:原子力部門の責任者



危機管理研修



オンラインでの実施状況

研修実績(人)
2021年度
610



9. JANSI活動に対する評価・課題等

9-1. JANSI活動に対する現状の評価、課題

○ ピアレビュー、安全文化診断、リーダーシップ研修など各活動の質は確実に向上し、事業者には有効な提言等ができています。これらの活動により、事業者の自主的・継続的な安全性向上の仕組みの改善と、**CEOのリーダーシップの下、これに取り組む事業者のマインド醸成に貢献**しており、このマインドの現場レベルでの一層の浸透のため、事業者と継続的に取り組む。



9. JANSI活動に対する評価・課題等

9-2. 今後の活動の方向性

○これまでの活動を更に充実させ、引き続き**CEOのリーダーシップのもと継続的改善を進めるマインド醸成を支援。**

○更なる有効な提言に向けて、発電所運営を日常的に監視・評価する仕組みの導入。(ピアレビューと次のピアレビューの間における日常的な監視・評価により運営活動の劣化を兆候段階で把握して提言)



10. 結言

会長としての見解

- 事業者CEOによって強力に支援されている正式なガバナンス体制
- JANSI活動を導く10年戦略計画
- “国内”及び“国際”の両方の視点からの効果的なアドバイザリー体制
- 技術的に優れた職員
- 自主規制機関に必要な活動の迅速な習熟
- 事業者上級幹部によって十分に理解され支援されている一方で、発電所組織の現場職員には理解があまり進んでいない。
- 産業界の自己認識および自己是正能力が向上している

